

中期財政収支見通しについて

1 推計の前提

- (1) 平成25年度当初予算を基準として、平成27年度までの2年間で推計
- (2) 推計は平成25年8月時点のものであり、今後も変動が見込まれる
- (3) 一般会計をベースとして推計
- (4) いわゆる消費増税は、国で検討中であることから、考慮していない

2 推計の方法

(1) 歳入

- ① 市税 過去の実績や今後の経済動向の見直しなどにあわせて推計
- ② 地方交付税等 平成25年度実績をベースに市税に連動して推計
- ③ 臨時財政対策債 平成25年度実績と同額で推計
- ④ 国県支出金 事業費に連動して推計
- ⑤ 市債 プライマリーバランスが赤字にならない範囲で上限額を推計
- ⑥ その他特定財源 財源不足対策等、臨時的な基金繰入金は0で推計

(2) 歳出

- ① 人件費 現行の職員定数や給与体系をベースに、新規採用・定年退職予定数などを踏まえて推計
- ② 扶助費 過去の実績等を踏まえて推計
- ③ 公債費 過去の市債発行実績等に基づき、元金償還額及び利払い額等を推計
- ④ 繰出金 義務的な繰出金について、各局の財政需要に基づき推計
- ⑤ 普通建設事業費 施設整備・再開発等について、各局の財政需要に基づき推計
- ⑥ その他経費 各局の財政需要に基づき推計

3 推計結果

(単位：億円)

	平成25年度 (当初予算)	平成26年度	平成27年度	平成26～ 27年度
歳入	4,475	4,441	4,373	8,814
歳出	4,475	4,762	4,792	9,554
歳入-歳出	—	▲ 321	▲ 419	▲ 740

(注) 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合がある(以下同じ)。

昨年度の中期財政収支見通しでは、平成26年度財源不足額は288億円の見込みであった。

参 考

4 歳入・歳出の見通し

(1) 歳入の見通し

(単位：億円)

	平成25年度 (当初予算)	平成26年度	平成27年度	平成26～27年度
一般財源	3,084	3,083	3,085	6,168
①市税	2,186	2,212	2,210	4,422
②地方交付税	78	52	47	99
③臨時財政対策債	201	201	201	402
その他	619	618	627	1,245
④国県支出金	876	930	885	1,815
⑤市債(③臨財債除く)	389	384	357	741
⑥その他特定財源	126	44	46	90
歳入合計	4,475	4,441	4,373	8,814

※一般財源と特定財源の区分は、決算統計における区分ではなく、さいたま市の予算要求上の区分を使用。

(2) 歳出の見通し

(単位：億円)

	平成25年度 (当初予算)	平成26年度	平成27年度	平成26～27年度
①人件費	747	746	755	1,501
②扶助費	998	1,009	1,018	2,027
③公債費	477	482	474	956
④繰出金	302	312	334	646
⑤普通建設事業費	721	939	917	1,856
⑥その他	1,230	1,274	1,294	2,568
歳出合計	4,475	4,762	4,792	9,554

(3) 財源不足額の見通し

(単位：億円)

	平成25年度 (当初予算)	平成26年度	平成27年度	平成26～27年度
歳入合計-歳出合計	—	▲ 321	▲ 419	▲ 740